



## 令和2年度亀山市当初予算案発表

令和2年度の当初予算は、第2次総合計画前期基本計画第2次実施計画の2年目の年として、施策・事業の積極的な展開を図るため重点的な予算配分を行いました。

一般会計予算額は、前年度比16億3,300万円、8.1%の増で、過去2番目に大きな規模となる217億9,000万円となりました。

歳入においては、市税の減収を見込み、また、亀山駅周辺整備事業関連に係る国庫補助金や市債が増加する一方で、財源調整のために財政調整基金は前年度比2億円増となる13億円を計上いたしました。

主な取組事業は、文化スポーツ関連では、「かめやま文化年2020」や三重とこわか国体を見据えたりハーサル大会を実施するとともに、環境関連では、SDGsの視点を取り入れた環境計画の一体的改訂や、森林環境創造事業などにより、環境の保全・活用を継続的かつ着実に推進します。

また、教育関連では、井田川小学校の校舎増築と給食室の改修や、国の「GIGAスクール構想」に伴う情報教育推進事業を実施するとともに、防災関連では、各種防災情報を掲載した総合的な防災マップの作成・配布を実施します。

さらに、中心的都市拠点の再生では、JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、市街地再開発組合により進められる施設建築物や公共施設の建築工事等の支援や、地域生活交通再編事業及び都市計画道路整備事業により交通ネットワークの形成を図るとともに、地域まちづくりでは、「JR加太駅舎」の改修による地域活性化拠点としての活用や、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の充実等により地域福祉力強化推進事業を展開してまいります。

こうした事業を下支えする基盤構築のため、新たにスタートする「第3次行財政改革大綱」に掲げる「スマート自治体」として、新たなICT技術を活用し、効果的な市民サービスの提供を行うとともに、業務の効率化と正確性を確保し、職員の働き方改革を推進するなど、行政システムの改革を推進します。

令和2年度の一般会計予算の執行にあたっては、第2次総合計画の積極的な展開と、「第3次行財政改革大綱」による財政健全性の確保の両立に努めてまいります。